瀧本議員（民主県政会）

平成 26 年 12 月 10 日
教育長答弁実録
（教育委員会）

（問）県総合グランドの移設を含めた抜本的な対策について

総合グランドの施設については，耐震改修や防水工事などで維持しているが，例えばメインスタジアムのスタンドは昭和４１年に建築され，築５０年に迫っている。

また，野球場については，ナイター設備やバリアフリー化など，アマチュアの全国大会が開催できる施設への衣替えを望む声が多くあると聞いている。

このため，総合グランドは移設を含めた抜本的な対策を講じるべきであり，例えば，今の利便性を保つため，広島西飛行場跡地へ移転・新築してはどうかと考えるが，その場合に解決すべき課題やその実現可能性について，どのように考えているのか，教育長に伺う。

（答）

総合グランドにつきましては，広島市中心部近くに立地しており利便性の高い施設でございますが，野球場のナイター設備がないなど，利用者のニーズに十分対応していないといった課題がございます。

また，都市公園法による敷地面積の制約があり，大規模な改修が難しいといった課題もございます。

こうしたことから，総合グランドの果たすべき役割や他施設との機能分担を整理する中で，どのような機能を維持していくか，施設のあるべき方向性について，移転も含め幅広く検討してまいりたいと考えております。